

高校地理プリント（過去問類似）  
地理B（旧課程の過去問） No.6

名前

得点

/10

問1 アメリカ合衆国のミシシッピ川河口部に位置し、中西部の農業地域から運ばれる穀物の輸出港としての役割や、メキシコ湾岸で産出される石油・天然ガスの精製・流通拠点としての役割を持つ、ジャズの発祥地としても知られる港湾都市はどこか。

(2010年 全国公立入試 類似)

1. フィラデルフィア      2. ニューオーリンズ      3. インディアナポリス      4. サンフランシスコ

問2 西ヨーロッパの主要国では、言語や技能の壁、社会的な要因などから、自国民の失業率に比べて外国人の失業率が著しく高い傾向が見られる。かつて北アフリカなどの旧植民地から多くの移民を受け入れ、現在もこれら移民系住民の雇用環境や社会統合が深刻な課題となっている国はどこか。 (2016年 全国公立入試 類似)

1. ベルギー      2. オランダ      3. イギリス      4. フランス

問3 第二次世界大戦後の高度経済成長期にトルコなどから多くの客員労働者（ガストアルバイター）を受け入れ、その後は家族の呼び寄せやEU域内からの移動が進んだことで、外国籍人口の男女比がほぼ等しくなっているヨーロッパの国はどこか。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. スイス      2. フランス      3. ドイツ      4. イギリス

問4 発展途上国などに多く見られる、国内第1位の首位都市の人口規模が第2位以下の都市に比べて圧倒的に大きく、諸機能が一極集中している都市を何というか。バングラデシュの首都ダッカなどがその代表例である。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. プライメイトシティ      2. メガロポリス      3. コナベーション      4. メトロポリス

問5 フランス南部、ガロンヌ川沿いに位置する都市について述べた次の文の空欄にあてはまる都市名として最も適当なものを答えよ。「この都市は、大学や研究機関が集積する学術研究都市としての性格を持ち、ヨーロッパ各国で分業生産された部品を集めて航空機の最終組立てを行う、ヨーロッパの航空宇宙産業の中心地として知られている。」 (2007年 全国公立入試 類似)

1. マルセイユ      2. トゥールーズ      3. グルノーブル      4. ストラスブール

問6 環太平洋造山帯などの新期造山帯は、プレートの沈み込み帯に伴う火成活動などにより、特定の非鉄金属資源が豊富に存在することで知られる。この造山帯に位置するメキシコやペルーなどのアンデス山脈周辺国が世界的な産出シェアを占めている鉱産資源は何か。 (2014年 全国公立入試 類似)

1. 銅鉱      2. 銀鉱      3. 鉄鉱      4. 金鉱

問7 ペルシャ湾沿岸に位置する広大な領土を持ち、石油輸出国機構（OPEC）において事実上のリーダー格として原油の生産調整などに強い影響力を持つ、世界有数の原油生産国はどこか。 (2024年 全国公立入試 類似)

1. バーレーン      2. サウジアラビア      3. クウェート      4. カタール

問8 ヨーロッパにおいて、フィヨルドに代表される急峻な山地と豊富な降水に恵まれ、国内の総発電量の大部分を水力発電で賄っている国はどこか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. リトアニア      2. ノルウェー      3. エストニア      4. デンマーク

問9 スカンディナヴィア山脈が海に迫るノルウェーの沿岸部では、かつて陸地を覆っていた氷河の浸食によって形成されたU字谷に海水が進入し、奥深く入り組んだ湾が形成されている。この沈水海岸地形の名称を答えよ。 (2018年 全国公立入試 類似)

1. モレーン      2. ドラムリン      3. フィヨルド      4. ホルン

問10 1980年代、日本の自動車輸出が急増したことにより、主要な輸出先であったアメリカ合衆国との間で深刻な経済的対立が発生した。日本の自動車メーカーが北アメリカでの工場建設や現地生産を本格化させる直接の契機となった、この二国間の経済的・政治的な対立関係を何というか。 (2018年 全国公立入試 類似)

1. 日米繊維交渉      2. 日米包括協議      3. 日米構造協議      4. 日米貿易摩擦

## 答え合わせ・解説 No.6

問1	答え 2 ニューオーリンズ	ミシシッピ川の河口部に位置するニューオーリンズは、背後の広大な農業地域から河川交通を利用して集まる小麦やトウモロコシなどの農産物の主要な積出港である。また、メキシコ湾岸油田に近いため、石油化学工業や天然ガスの精製・流通拠点としても発展している。文化的にはジャズの発祥地としても有名である。石炭の積出港としては、アパラチア炭田に近い東海岸のハンプトンローズなどが知られており、これらとの混同に注意が必要である。
問2	答え 4 フランス	西ヨーロッパ諸国では、自国民に比べて外国人の失業率が著しく高い傾向がある。特にこの国では、アルジェリアなど北アフリカの旧植民地からの移民とその子孫が多く居住しているが、言語や技能のミスマッチ、社会的な差別などを背景に、外国人の失業率が自国民の約2倍に達するなど、労働市場における格差が社会問題化している。
問3	答え 3 ドイツ	第二次世界大戦後の復興と経済成長に伴う労働力不足を補うため、南欧やトルコなどから多くの外国人労働者（客員労働者）を受け入れた。当初は単身の男性労働者が中心であったが、その後家族の呼び寄せが認められ、定住化が進んだ。また、EU域内での移動の自由化も手伝い、現在では外国籍人口の男女比はほぼ1対1に近い状態となっている。
問4	答え 1 プライメイトシティ	発展途上国では、近代化や工業化の過程で特定の都市に人口や経済活動が一極集中する傾向が強い。このように、国内第1位の都市（首位都市）の人口規模が第2位の都市を大きく引き離している都市をプライメイトシティと呼ぶ。バングラデシュのダッカやタイのバンコクなどがその代表例である。これに対し、オーストラリア（シドニーとメルボルン）やイタリアなどでは、複数の主要都市に人口が分散し、規模が拮抗する傾向が見られる。
問5	答え 2 トゥールーズ	フランス南部のトゥールーズは、温暖な気候や学術機関の集積を背景に、航空宇宙産業の拠点となった。ヨーロッパ共同開発の航空機（エアバス）の最終組立て工場が置かれており、ヨーロッパ各地から部品が輸送されて集中的に組み立てられている。石炭や鉄鉱石などの地下資源に依存する従来の重工業地域とは異なり、先端技術産業（ハイテク産業）の集積地として発展した。
問6	答え 2 銀鉱	新期造山帯では、プレート境界における激しい地殻変動や火山活動に伴い、多様な金属鉱床が形成される。特にメキシコやペルーなどのラテンアメリカの山脈地帯では、大航海時代以来、世界的な銀の産出地として知られており、現在でも高い産出シェアを維持している。
問7	答え 2 サウジアラビア	ペルシャ湾沿岸の巨大な油田（ガワール油田など）を擁し、OPEC（石油輸出機構）の主導国として世界のエネルギー市場に大きな影響力を持つ。近年はアメリカ合衆国に次ぐ世界第2位前後の原油生産量を維持している。
問8	答え 2 ノルウェー	スカンディナヴィア半島西部に位置するノルウェーは、急峻な山地とフィヨルド地形、そして豊富な降水量・融雪水を利用した水力発電が極めて盛んである。国内の発電電力量のほぼすべてを水力発電で賄っており、余剰電力を海底ケーブルを通じて近隣諸国に輸出している。
問9	答え 3 フィヨルド	スカンディナヴィア半島は、過去の氷期に厚い大陸氷河に覆われていた。ノルウェー西岸では、氷河の強い浸食作用によって削られた急峻なU字谷に、氷期以降の海面上昇によって海水が深く進入し、フィヨルドと呼ばれる複雑な入り江が形成された。水深が非常に深く、波が穏やかなため、天然の良港となる。
問10	答え 4 日米貿易摩擦	1980年代、日本の対米貿易黒字、特に自動車の輸出急増はアメリカ国内の産業に打撃を与え、両国間で深刻な政治問題へと発展した。これを回避するため、日本の自動車メーカーは輸出から現地生産へとシフトし、北アメリカでの直接投資や工場建設を急速に進めることとなった。